みどりのきずな

平成 27 年 10 月 1 日発行　第 26 号

編集:緑区支え合いのまち推進協議会広報部会　発行:緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内
TEL:043(292)8142　FAX:043(292)8276

支え合いのまち　検索

計画書は保健福祉センター、区役所、公民館、図書館でも閲覧できま

緑区支え合いのまち推進計画がスタート その特徴とは

委員長　岡本　博幸

今年度より「緑区支え合いのまち推進計画」(第 3 期緑区地域福祉計画　平成 27～29 年度）がスタートしました。26 年度まで推進してきた緑区地域福祉計画と、どこが違いどんな特徴があるかをご理解していただき、推進に当たってのご支援をお願いいたします。

26 年度までは区の地区部会が主体となって活動を推進してきましたが、地区の課題を決めそれに向って推進するという課題意識は十分ではありませんでした。今回は地区・地域が中心となって地域の課題解決に取り組もうという地域主体の推進です。

特徴の第 1 は、地区の課題は地域住民が力を合わせて取り組み、課題解決力の向上を図ることが目的です。課題解決は地区での自助・共助を主眼としています。課題は市で選定された「取組みテーマ 9 項目」から地区ごとに重点目標を設定し取り組むようにしました。

9 項目は次の通りです。1交流の機会創出と社会参加の仕組み2健康づくり3相談体制と情報提供の充実4要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化5見守り体制の構築6防犯に対する取組み7防災に対する取組み8福祉教育・啓発9人材確保とボランティア活動の促進です。

第 2 は、地域の重点課題を明確にし、3 年間かけてその実現を図ります。その重点目標は各地区次のようになっています。

・土気地区は見守り活動の推進
・誉田地区は見守り活動の推進
・おゆみ野地区は高齢者が集う場の開設・拡充
・椎名地区は地域と学校の交流。
　　そして見守り活動の推進

第 3 は、実現できる地域から課題解決に取り組むことです。地区全体で取り組むことも必要ですが、まずは地域で出来ることから取り組んでいくことにしました。その積み上げが、やがて全体に広がることを願っているからです。

第 4 は、年次ごとに目標の評価を取り入れたことです。地域福祉計画管理表を作成し、「目標値・評価・今後の方向性」を 3 か年に渡って評価をいたします。達成が不可能なときは、年度の課題を分析し、住民の声を取り入れ、新たな視点で次のステップで進展するようにいたしました。

第 5 は、地域活動における市（公助）との連携です。課題は地域だけでは解決できないことがあります。その時は行政の支援を得て解決することになります。そのためにはどこに問題があり、どのような解決方法があるかを明確にして行政と一体になって考えていきます。

「支え合いのまち推進」とは、①支えるということはお互いに手を差し伸べ合うこと。②「向こう三軒両隣」の意識を高めること。③自分たちのまちは自分たちで創造すること。「支え合いのまち」とはみんなが誇りと愛情を持って地域を育てていくことだと思います。本協議会は社会福祉協議会・保健福祉センター・千葉市あんしんケアセンター等と連携し、計画の実現に向けて支援をしていきます。

椎名地区

かかしさん　しっかり見守ってね！

椎名小の５年生は、地元の人たちの助けを借りて、稲の種まきに始まり、初夏の田植えと秋の稲刈り・脱穀などの食育体験をしました。学童は力を合わせて、稲が無事に育つよう願いを込めた「かかし」を作り飾りました。

無事に育ってくれた「お米」で太巻き寿司にも挑戦し、全校学童と一緒にいただきます。

「納涼夏まつり」開催

「支え合い」「ふれあい」のきわみ

古市場地区では５自治会の一致協力のもと「夏祭り」が８月１日と２日にかけて開催されました。

準備段階から当日まで、各自治会の役員をはじめ住民の多くの皆さんが計画から実行まで携わって開催されました。

会場のあちこちで世代を超えた「ふれあう」状況が見られ、賑わっていました。

誉田地区

通学路（大膳野町）に押しボタン式の信号機が付きました。

ＰＴＡ・学校・町内自治会・民生委員で信号機を長年にわたり色々な関係部署に申請をし、今年の８月に設置され、学校が始まる９月までに作動されました。子ども達も安心して道路を渡ることが出来るようになりました。

誉田地区部会はボランティアをはじめ、町内自治会・民生委員で子ども達の登下校を見守っています。

○印が信号設置された交差点↓

土気地区

ボランティア研修会・交流会

7 月 8 日、土気公民館講堂で 73 名が参加し土気地区部会の研修会が開催されました。

今回は 3 年に 1 度実施している救急救命法を行いました。講師は、緑消防署署員 2 名と救急ボランティア 5 名で参加者を 6 班に分け、人形を用いての心肺蘇生（心臓マッサージ）と AED の操作方法を学びました。

心肺蘇生（心臓マッサージ）

具合の悪い人を発見したら・・・

① 周囲の安全を確認。
② 周りにいる人に声をかけ、119 番通報を依頼、近くに AED があれば手配する。
③ 呼吸をしているかどうか確認する。「大丈夫ですか？聞こえますか？」と声をかける。
④ 心臓マッサージを 30 回行う（手の甲を重ね横たわっている人と垂直になるよう腕を下し、胸を圧迫する。）
⑤あごを引き上げ気道確保、鼻をつまみ口から息を吹き入れる（2 回）胸の膨らみを確認する。
⑥ 心臓マッサージを 30 回繰り返す。
⑦ AED が届くか、救急隊が到着するまで心臓マッサージを続ける。
（1 分間に 100 回を目安に行う。重労働なので交代できる人が必要）
※AED の使い方はケースの中の音声ガイドに従って、あわてず正確に操作すること

各班とも講師の方を囲んで熱心に、時に楽しそうに笑顔で取り組んでいました。ボランティアさんのパワーの源を見たような気がしました。

社協の実践活動はボランティアさんあってこそです。これからもよろしくお願い致します。

おゆみ野地区

すいようカフェオープン！

地域の誰もがふらりと立ち寄れる居場所として、毎週水曜日の午前 11 時～午後 3 時まで、すいようカフェを開いています。カフェは、くつろぎ、語らい、学び、相談、他者の存在を感じつつ好きなように過ごせるスペースです。お茶を飲みながらみんなで語らい、元気を分け合うような場です。6 月から開催していますが、子育て支援や高齢者の活動が新たに生まれています。どうぞお立ち寄りください。滞在参加費 500 円（セルフドリンク料含む）、毎回まかないランチ（300 円）を 10 食準備しています。必要な方は事前にお知らせ下さい。昼各自持ち込み OK です。設置図書の貸し出もしています。
場所：緑区おゆみ野３－４０－８河野ビル１階

おゆみ野文化祭２０１５

こみこん祭りから名称変更しておゆみ野文化祭となり、今年で３年目になります。自主的に会員になった住民を中心に日頃鍛錬している成果の発表の場となっています。今年も１１月２２日と２３日におゆみ野文化祭２０１５を開催します。

場所は鎌取コミュニティセンターを中心に周りの広場にも輪を広げます。

小さな音楽発表会から大きな音の音楽祭見るだけでなく、体験も楽しめるアートのコーナー、おゆみ野の歴史をアーカイブ、その他にも自主企画がたくさんあります。来て、見て、参加しての宣伝旗は地域の中に１２枚あります、探してみて下さい。

お問い合わせは　℡　090-1611-6654　田宮
アートタウンおゆみ野事務局まで

福祉の窓口

お気軽に
ご相談ください

「あんしんケアセンター」

《地域の高齢者（６５歳以上）の皆さんを介護、福祉、健康、医療などの面から総合的に支える窓口です》

認知症や介護・福祉制度に関する相談等高齢者に関する様々な相談をお受けしています。また、体操教室や健康相談等地域の介護予防に関する取り組みも行っています。

窓口は、月～土曜日　午前９時～午後５時までです。
（日曜日、祝日、年末年始を除きます）

鎌取地区

千葉市
あんしんケアセンター鎌取
場所：ゆみ～る　５階
☎：043-293-6911

誉田地区

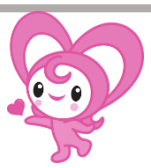
千葉市
あんしんケアセンター誉田
場所：武村内科医院　正面
☎：043-300-4855

土気地区

千葉市
あんしんケアセンター土気
場所：バーズモール内
☎：043-295-0110

☆主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士がお待ちしております(*^▽^*)//

「緑区ボランティアセンター」



ハーティちゃん

緑保健福祉センター2 階（鎌取町）

ボランティア活動で誰かを支えたい。誰かの役に立ちたい。
あなたのその気持ち、ボランティアセンターがお手伝いします！
ボランティアコーディネーターがボランティアに関する相談やあなたにぴったりのボランティア情報を提供します。是非一度お問い合わせください。☎：043-292-8185

コーディネート

ボランティアを必要としている人とボランティア活動希望者を繋げます

情　報　提　供

ボランティアに関する情報提供や講座を開催します

部　屋　貸　出

ボランティアグループに活動室を貸出しています

ホームページあります

社協緑区事務所　検索

クリック

編集後記

「緑区支え合いのまち推進計画」第 3 期緑区地域福祉計画が 27 年度から 3 年間かけて実施されます。大人も子供も、高齢者の皆様も、誰もが暮らしやすい街づくりを目指しています。地域にはたくさんの応援者がいます。心配事があっても一人で悩まず、一緒に考えて、笑顔を絶やさず元気に過ごしましょう！